

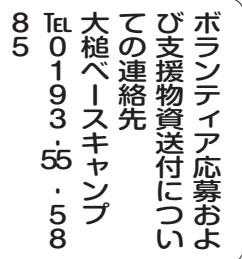


よきおとずわ

CATHOLIC NAGASAKI MONTHLY

カトリック長崎大司教区報

①一般の意向：感謝の祭儀に現存するキリスト
②宣教の意向：ヨーロッパのキリスト者
③日本教会の意向：日本の教会で働く司祭の
聖化のために祈る



1862年、26人の殉教者たちが列聖されました。彼らに献げられた大浦天主堂で、キリシタンたちが奇跡の出会いを果たすのは、それから3年後のことでした。日本の教会の礎である殉教者たちに「新たな出会い」への取り次ぎを願う祈りとして、記念行事をお知らせします。

に資料館にお集まりください。当日は入場無料。

長崎南地区評議会主催

6月8日(金)
7月1日(日)
日本二十六聖人記念館50

聖人記念館3階ホール
開館・9時～17時 **【内**
容 今井兼次氏と舟越保

のシンボルである双塔のエスキース展示、他入場料・大人200円中

下無料（6月8日は無料）

10時15分日本二十六聖人
上陸の地記念碑前（時津
港）集合、10時30分出発

14時からの感謝ミサ参加をもって解散。長崎大司教区主催。長崎北也区

西坂、浦上 徒歩巡礼

榎式に参加して16時30分
分出發して浦上へ。14時
からの感謝ミサ参加をも
つて解散。長崎大司教

区主催
長崎南地区担当

olic.jp/m
-
holic
-ジ
olic.jp/
教

区モバイル
saki.cat

区ツイッター
m/ngskc

区ホームページ
saki.cat

●長崎大司
www.na
●長崎大司
twitter.c
●長崎大司
www.na

カトリック
<http://www.catholic.jp>
カトリック
<http://www.catholic.jp>
カトリック
<http://www.catholic.jp>

荷物の整理をしていると、たくさんの手紙が出てきた。恩人の手紙である。恩人とは、神学生のために祈ったり、金銭的に支えたりしてくれる人のこと。私の恩人の一人は、80歳になるベルギー人の女性だった。懐かしく思いながら読み返した。「風邪は引いていませんか」「勉強はつらくありませんか」「孫と一緒に祈ってますか」

数年、彼女のことを忘れていた。「皆さんのおかげで」司祭に叙階された当時は、日に何十回も言ってきた言葉。その記憶が薄らぐ中で感謝の気持ちも失ってしまった▲見える現実の奥には、見えない想い、人の生き様がある。決して表に出ることはない、それでもしっかりと自分を支え、周りの人を支える土台がある。絶えず原点に立ち返り記念するのは、それを忘れないためである▲26聖人列聖150周年の記念行事という証しの奥に、どのような想いを汲み取ることができるだろうか。私に心配をかけまいと、一番上等の服を着け、化粧をし、杖を外してにこやかに写る恩人の写真の前にして思うことである。(F・O)

教区評議会総会開催

カトリック長崎大司教区評議会(会長・高見三明大司教)は5月3日、

よび12年度の活動方針・計画案を審議した。審議に先立ち、高見大司教はあいさつの中で、日本二十六聖人列聖150周年記念事業の取り組みや、今後の教区の在り方として、

『信仰生活を見直そう』 自分の信仰に確信と誇りと喜びを持つために

1. 日本二十六聖人殉教者列聖150周年に向けて

- ・家族そろって教会へ行きましょう。
- ・はじめの一步は祈りある家庭から。
- ・信仰が生活の支柱である生き方を。

2. 信仰年を迎えて

- ・10月11日から信仰年が始まる。親子で、教理(第2パチカン公會議公文書やカテキズム)をもう一度学ぶことにしよう。
- ・学んだ教えを、心にとめ、喜びと感謝をもって、生きてゆこう。

3. 信徒発見150周年を迎えるにあたって

- ・長崎教区代表者会議(教区シノドス)に向けて推進する。
- ・殉教の意義を理解し、人々に種々の機会に説明する。
- ・各人の生活の中で殉教の精神と宣教の精神を生きる。

4. 参加し、交わり、宣教する教会を目指して活動する

- ・信仰を深めよう(巡礼に参加しよう)
- ・神の言葉に生きる(聖書愛読運動)
- ・思いやりをかたちに(クリスマス募金・一葉募金)

「祈り」と「学び」、「一致と交わり」を深め、「福音を告げ、キリストを証しする」共同体となる必要性を説いた。審議に引き続き、教区本部事務局長小瀬良 明師は、アンケートの意見を紹介しながら、教区

非核特使・廣瀬さん ウィーンで被爆体験を講話



廣瀬さん

から「非核特使」として派遣された、長崎平和推進協会継承部会の副部長を務める廣瀬方人さん(82、城山教会所属)は、政府代表者や若手外交官、ウィーン日本人学校の子供たちに被爆体験を語った。

4月29日に現地入りした。外務省から「非核特使」として派遣された、長崎平和推進協会継承部会の副部長を務める廣瀬方人さん(82、城山教会所属)は、政府代表者や若手外交官、ウィーン日本人学校の子供たちに被爆体験を語った。



た。外務省から「非核特使」として派遣された、長崎平和推進協会継承部会の副部長を務める廣瀬方人さん(82、城山教会所属)は、政府代表者や若手外交官、ウィーン日本人学校の子供たちに被爆体験を語った。



とがどんなに貴重なことかあらためて実感した」と話し、東日本大震災に伴う福島原発事故についてどう思うかとの問いに「3・11以降、放射能にさらされている人々にどんなふうに関わり添っていくか、被爆者として考え続けている。3・11以前と以降の日本は違うという自覚を持たなければならぬ。これからは新しい自然エネルギーとの共生を考えるべきと思う」と答えた。

代表者会議(教区シノドス)について説明。さらに、教区会計、家庭特別委員会、信仰養成部、福音化推進部、教会奉仕者等養成部から今年度の活動計画が報告された。また、東日本大震災復興支援活動について、カリタスジャパン大槌ベール長古木真理一師から報告があった。総会には、各小教区評議会から120人余りの信徒が参加。開催が日曜日ではなかったため、小教区評議会会長である主任司祭の参加も例年より多かった。採択された12年度活動方針・計画は上記の通り。

長崎教区の再出発

2014年、 教区代表者会議 (教区シノドス)に向けて

教区シノドスについて
聖書愛読運動
4・(3)

シノドス事務局
小瀬良 明

「聖書愛読マラソン」という名称は、「聖書愛読運動」に変更になりましたが、その意図するところは変わりません。私たちがもっと聖書に親しむことです。なぜかという問い掛けをなさる方もおられるかもしれませんが、結論から言うと、聖書の中に現存されるキリストに出会うためのものです。教会はキリストと出会うために特に2つの方法を教えています。1つは、ご聖体の中におられるキリスト、もう1つは、聖書の中におられるキリスト、この二つが、

ト、このキリストに出会うためにご聖体に近づき聖書に親しむのです。パウロはキリストの道を歩きました。その証しとしてパウロと改名し、迫害する生き方からキリストを伝える生き方に変わっていったのです。さらにパウロはキリストを宣べ伝えることを義務や使命感に駆られてではなく、自主的に自分の生き方として、もうキリストを伝えずにはいられないまにまでなっていました。マザー・テレサという聖女も、キリストの声を聞いたと言われました。その結果、マザー・テレサもその生き方を変えていったのです。聖書の中には幾つかの神の聲が記されていますが、

神の声を聞いた人、つまり、キリストと出会った人は回心せざるを得ないのです。なぜなら、キリストという方はあまりにも素晴らしい方だからです。私たちがなかなかその生き方を変えられないのは、キリストの出会いが実現されていないからなのです。何回となくご聖体を拝領してもキリストに出会えないのです。本当は出会っているのに私の目がキリストを見つけれず、キリストの語り掛けがあつていないのに私の耳がそれをつかめないのです。私たちの五感には限界があります。この限界を乗り越えないとキリストとの出会いは不可能となります。聖書愛読運動の終点は聖書の中におられるキリストと出会った時となります。

善長谷教会献堂60周年



5月6日(日) 善長谷教会(深堀小教区)は、教会献堂60周年を祝い、記念ミサと祝賀会を行った。記念ミサは、主任司祭紙崎新一師と長崎南地区の4人の司祭との共同司式で行われ、善長谷教会信徒と深堀教会などから120人余りが参加した。

福江教会献堂50周年 信徒会館落成式も



福江教会(下口 勲 主任神父)は4月22日、前日の悪天候が一転晴れ上がった中、高見三明大司教の司式で福江教会献堂50周年記念ミサと信徒会館落成式を行った。福江の町の中心部にそびえたつその姿は信徒の誇りであり、また新聖堂落成間もなく起こった福江大火で難を逃れるなど象徴的な建物である。小

たたえるとともに、次の世代へその思いを伝えることができるよう祈りをささげた。ミサに先立ち、長年信徒の集いの場所であった信徒会館の建て替え落成式も行われた。このたびの信徒会館は靴のままで利用できることが一番の特徴で、入りやすさを感じさせる建物。ホールを中心に通夜にも利用できるような和室や宿泊できるスペースもある。また、これから下五島地区の中心的施設となる可能性も考え、事務室も設けられている。



教区の歩みの中で節目となる50周年を迎え、記念ミサではこれまで信仰を伝え続けた先祖の思いを

た。説教の中で紙崎師は、「高齢化や人口減少など、教会を取り巻く環境はますます厳しくなっており、これからの教会の将来像を真剣に考えていかなければならない岐路に立っています。避けて通れない問題ですが、私たちは先人たちが守り続けてきた教会と信仰の熱意を、将来へ伝え続けていかねばなりません」と語った。ミサ後の記念式典では、信徒代表と来賓者のあい

さつに続いて、60周年を記念して作成した記念誌が映像として紹介された。善長谷教会は中町教会の巡回教会として始まり、1895年に旧聖堂が建てられたが、老朽化のため中町教会主任の古川重吉師によって今の聖堂が建てられ、1952年5月3日、山口愛次郎司教(当時)により祝別された。当時の信徒は約250人で現在は60人が在籍している。

ご先祖に心より感謝を・・・

材石 治明

長崎本店 長崎市城栄町 13-1 電話 (095) 846-3598
大村店 大村市民霊園内 電話 (0957) 50-3008

マイホームの美容と健康に！

(有) 山 川 塗 装

有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会
長崎県建物営繕工事業協同組合理事

代表取締役 ベトロ 山川 進

佐世保市原分町1715-5
TEL(0956)49-3330 FAX(0956)49-8729

交通誘導警備 常駐警備 イベント警備

(有) 小 田 警 備 保 障

警 備 員 募 集 !

電話 095-856-6524 FAX 095-856-6523

長崎市横尾3丁目31-15 代表取締役 パウロ 小田 睦

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士

大田白蟻研究所

代表者 マリア 大島 睦子

(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号

長崎 095-822-8436
FAX 095-822-8488

カトリック長崎大司教区認定53ヶ所「五島巡礼」
福江島・嵯峨島・久賀島・奈留島・中通島・
クリシタン洞窟 そして、野崎島の野首天主堂へ

日 程 2012年9月18日(火)~22日(土)4泊5日
集 合 18日(火)07:15 解 散 22日(土)17:30
※集合・解散場所は長崎港大波止ターミナル1階
宿泊地 福江島(1泊)若松島(1泊)中通島(2泊)
定 員 20人(最少催行人数15人)
1人 86,500円(長崎発着)
往復ジェットフォイル、島内交通費、
4泊(5食、4夕食、4朝食)、ガイド料、五島巡礼手帳、入場料
旅行主催 九州商船株式会社
長崎県知事登録旅行業第246号(社)全国旅行業協会会員 国内旅行業取扱管理者 野村昌史
申し込み締め切り 2012年8月15日(水)
問い合わせ・申し込み先 九州商船 営業部
〒850-0035 長崎市元船町16-12
(TEL)095-828-3125 (FAX)095-823-2664
協 力 NPO法人 長崎巡礼センター



巡回教会めぐり

16

俵町小教区

鳥帽子教会

平和の元后
聖母マリア

佐世保市営バス鳥帽子行き「スポーツの里入口」下車。徒歩約3分。標高430mの高台にそびえる小さな教会。1954(昭和29)年から1960(昭和35)年までに紐差教会所属の信者の家族が転居し、佐世保市鳥帽子開拓農協組合に入植する。過酷を極める環境の中で、入植した信徒たちは信仰と情熱を絶やさずに開拓に励んだ。



太田尾小教区

間瀬教会

ルドビコ茨木に
ささげられた教会

1961(昭和36)年、スカボロ会のガイ・神父が俵町小教区に再着任され、すでに田代町にあった信徒の家族と合わせて計10戸の信徒と共に教会建築に向け歩み出す。1963(昭和38)年5月12日、俵町小教区の巡回教会として聖堂が建設され、山口大司教の手によって献堂された。教会内部正面にはステンドグラスが入れられてお



教会建設に関わった高串輝治さんに聞くと、炭鉱が栄えていた1955(昭和30)年頃、日曜日や復活祭、特にクリスマスや夜半ミサなど、遠い太田尾教会まで山道を歩いて熱心に信仰を守っていた信者の強い希望と役員

鹿子前小教区

船越教会

紐差教会の古材を
利用して建設

尾立山集会所は、現在の鹿子前小教区巡回教会「船越教会」の発祥の聖堂である。

いつの頃からかでないが、五島や平戸、黒島方面から日本軍の仕事関係や漁業、農業などに携わる人たちが移り住むようになった。もともとカトリック信者が多い離島の移住者たち。彼らは信仰の火を絶やすことなく、お祈りする場所をつくり上げた。それが尾立山集会所(西海パールシーの



用し船越教会を建設。その後、三浦町教会の巡回となる。1962(昭和37)年船越小教区となるが70(昭和45)年船越教会と鹿子前教会が分かれ、鹿子前小教区となり巡回教会となる。現在の世帯数は80戸。高齢化とともに子供の数が減り待者も危ぶまれている。しかし、役員

の平均年齢は58歳。若きパワーで先祖から受け継がれてきた信仰と祈りをこれからも守りたい。(船越教会・赤波江利秋) Ⅱ写真

この小さな教会にまかれたキリストの種を大切に育て、芽を出し、やがて花を咲かせることができよう。先祖が守り続けてきた信仰の道を共に歩んでいきたい。(間瀬教会信徒・菅原妙子、江川勝市) Ⅱ写真

ときわ荘

「恵の丘公園・ルルド」祝福



4月28日、軽費老人ホーム「ときわ荘」(社会福祉法人純心聖母会、長崎市三ツ山町)で「恵の丘公園・ルルド」の祝福式が関係者200余人の列席のもと高見三司大司教によって執り行われた。この場所は、戦時中、純心女子学園の疎開地となっていた。原爆の当日、ここに松脂採集に来ていた



生徒と修道女は、爆風でバラバラになった動員生徒の名簿の焼け残りが降ってきたことにより、工場や学園が被爆したことを知った。

純心女子学園の創立者江角ヤス修道女は、被爆後の純心復興の原点となったこの丘に、原爆で死なせてしまった生徒の親の老後の世話をするためホームを開設した。草花や自然を愛した江角修道女の精神を継承し、人々の癒やしの場ともなるよう、このたびここに公園とルルドが整備された。公園は、石原和幸デザイン研究所の設計・施工によるもので、中央には

神ノ島教会(川口昭人主任神父)は5月6日、航海安全祈願と高鉾島殉教を記念する「岬の聖母祭」を教会近くのドンク岩海岸で行い、約150人が参加した。

岬の聖母祭 神ノ島教会



ミサの前には聖母行列があり、祈りと子供たちによる花まきも行われた。ミサの説教の中で、山浦義春神父(コンベンツアル聖フランシスコ修道会)は、「マリアさまを信じて航海安全を祈願しましょう。過去、現在・未来はイエスさま、マリアさま

まを通じてつながります。高鉾島で殉教した2人の殉教者も今の私たちにつながっています。受け継がれた教えを大事にしていきたい」と呼び掛けた。

1617年に宣教師がかくまった宿主が処刑されたとの記録が残る高鉾島。この岬の突端には1949年、航海安全を願うマリア像が建てられて聖母マリア像が建てら

れた。当日は、代々地元で水産業を営む晩星水産の船が大漁旗をなびかせて船団を組み、海上パレードを行った。ミサ後、神ノ島教会の信徒であり、同水産の代表を務める宮崎国安さんは「神父さまと右の方から神学生養成のために香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます」と話していた。

香典返し お礼とご報告

長崎カトリック神学院 ●谷口望様(浦上) 故ヨハネ谷口藤男様

教区代表者会議 アンケート集計状況

2015年は信徒発見150周年。記念すべき年を迎える準備として14年に教区代表者会議(教区シノドス)を71小教区に

配布し、今年4月末を締め切りとしていた。アンケートは、「家庭」「小教区」「大司教区」「その他」の項目からなり、選択式だけでなく、意見や理由などを記入する欄も設けられている。

5月11日現在、66小教区から回答が寄せられ、シノドス事務局で集計を進めている。集計結果は家庭特別委員会と3つの部(信仰養成部、福音化推進部、教会奉仕者等養成部)で分析され、再度

事務局でまとめられた後、各小教区に配布される。事務局は「6月いっぱいには集計を完了し、各小教区に返したい」としている。

ぶどう園

第130回クルシリヨ

5月3日から6日にかけて、イエズス会立山修道院で中村倫明師指導のもとクルシリヨが開催。23小教区から37人(男13、女22、修道女2)が参加した。参加者は聖霊による「絆」を確かめ合っ

て、それぞれの場へ派遣されていった。参加教会と人数は次の通り。

浦上3、稲佐1、中町1、飽の浦2、本河内1、愛宕1、深堀1、滑石3、さくらの里聖家族1、黒崎1、檜山1、時津3、長

長谷モミさん (長谷 功師実母)



5月5日、佐世保市にて帰天。94歳。通夜は5月6日浅子公民館で、葬儀・告別式は7日、浅子教会で高見三司

神に感謝!」(長谷神父)

カトリック中町教会にて 震災のための祈りのリレー

2012年6月11日(月) 6時30分 ミサ~19時 夕の祈り

- ◆6時30分ミサと19時夕の祈りは共同です。夕の祈りはテゼ共同の歌を用いて行います。
- ◆30分を1単位とし、1人で何単位でも可能です。
- ◆始まりは0分と30分とします。
- ◆祈りの形式は、特に定めません。
- ◆聖堂に來られない方は「聖堂外」でその時間を決めていただき、病

参加の方は差し支えなければ時間、聖堂、聖堂外を以下のアドレス宛てにお知らせください。 fr05abe19ko@yahoo.co.jp プラザ-阿部光一 (聖パウロ修道会)

震災のための祈りのリレーは毎月11日に行っています。長崎では今回初めて行われます。皆様の参加をお待ちいたします。

◆集いと巡礼 テーマ「あなたの生き方のヒントに みことばと26聖人の生き方から」 7月14日(土)15時受付~16日(月)13時30分解散 指導・デ

賞券(大人・大学生・シニア)千円、小中高生無料。 問合せ先・佐藤澄人 電095(847)5843

